

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名	高齢者生きがいと健康づくり推進事業	事業区分	新規/継続	継続	事務事業No.	020601000006
			単独/補助	補助	所属課	040501
政策体系	総合計画の施策名 政策名 施策名 基本事業名	0206 高齢者福祉の推進 02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり 06 高齢者福祉の推進 01 高齢者の生きがいづくりの推進	主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業	対象外 対象外 対象外 対象外	グループ	高齢福祉課 高齢福祉グループ
		財務会計上の位置付け	事業期間		担当	
予算科目	会計 款 項 目 事業 細 06 05 01 00 00 00	介護保険特別会計	単年度繰返し (年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠						

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) おおむね65歳以上の高齢者が豊かな経験、知識、技能を生かし、生きがいを促進し、閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者の孤立感を解消するために、趣味講座 (陶芸教室、竹細工教室等)・教養講座 (しあわせ学級)・交流会 (文化祭、芸能発表会)等を岩瀬福祉センター・真壁福祉センターを会場として実施している。事業の実施については、桜川市社会福祉協議会に委託している。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の内容】 事業内容の検討、委託料の検討、委託契約事務、委託費の支払・清算事務
-------------	---	---

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
事業内容の検討、委託料の検討、委託契約事務、委託費の支払・清算事務	開設講座数	回	24.00	24.00	27.00	28.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
おおむね65歳以上の高齢者	高齢者人口 (65歳以上)	人	12,188.00	12,757.00	12,800.00	13,000.00	13,100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
閉じこもり防止と健康維持を図る。	参加者数	人	5,842.00	5,889.00	5,800.00	5,800.00	6,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費内訳	26年度 (実績)		27年度 (実績)		28年度 (計画)		29年度 (目標)		30年度 (目標)		期間限定総投入量
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	人	
事業費	国庫支出金	4,524	2,786	3,250	3,250	3,250					0	
	県支出金	2,262	1,393	1,625	1,625	1,625					0	
	地方債	0	0	0	0	0					0	
	使用料・手数料	0	0	0	0	0					0	
	その他	0	5,574	6,500	6,500	6,500					0	
	一般財源	4,669	1,393	1,625	1,625	1,625					0	
	事業費計 (A)	11,455	11,146	13,000	13,000	13,000					0	
人件費	正規職員従事人数	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人						
	述べ業務時間	15.00	20.00	20.00	20.00	20.00						
	人件費計 (B)	44	58	58	58	58						
	トータルコスト (A)+(B)	11,499	11,204	13,058	13,058	13,058						

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)	28年度事業費 予算 (千円)			
13 委託料	11,146	13,000			
	合計	11,146			合計
					13,000

(4) 当該年度の実施内容 ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
• 主要事業 • 市長マニフェスト • 未来PJ事業 • 合併建設計画事業 ➔			

事務事業名	高齢者生きがいと健康づくり推進事業	事務事業No.	20601000006	所属課	高齢福祉課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、介護予防を目的として合併前から開始されていた。平成18年からは地域支援事業のひとつとして、国・県の補助金対象事業になった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	高齢者の生きがいを促進し、閉じこもり防止・孤独感の解消を目的としているため、高齢者福祉の推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	高齢者が事業に参加し、豊かな経験・知識・技能を生かすことにより、生きがいづくりを促進することは高齢者の生きがいづくりの推進につながることから妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	高齢者人口が増加するなか、それに伴い個人の趣味活動も多様化しているが新規の参加者を増やすことにより成果の向上余地はある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	高齢者の生きがいを促進することにより介護予防を目的とした事業であるため、廃止すると要介護認定率の抑制につながらなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	具体的な手段、事務事業名 高齢者学級・公民館講座(生涯学習課所管事業) 高齢者学級や公民館講座など生涯学習活動の一環で行われている事業との連携を図るべきである。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	講座の材料費等は、受講者が負担しており、事業費は事業実施に伴う人件費と講師謝礼等であるため削減余地がない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	事業の対象者は市内に在住する高齢者を対象としており、受講を希望する者が参加しているため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	岩瀬福祉センター及び真壁福祉センターで実施している講座数や内容に違いがある。市内の高齢者が両福祉センターで実施している希望の講座に参加できるような環境を検討したり、現在開講している講座の内容を社会ニーズに呼応できるような内容へと変更する必要がある。また、新規参加者の募集を図っていく。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現在の講座生に対してこれからの講座継続の方針説明と理解。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果	①																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>